

会議結果報告書

平成30年 8月 8日

会議の名称	志木市特別職報酬等審議会
開催日時	平成30年 7月24日(火) 9時30分～10時45分
開催場所	志木市役所 3階 ミーティングルーム
出席委員	西川和人会長、清水良介委員、竹前榮二委員、谷合弘行委員、吉田豊子委員、斉藤奈都子委員、木下里美委員、西田裕二委員、上野剛彦委員 (計 9人)
欠席委員	星野博之委員 (計 1人)
説明員職氏名	山崎人事課長、富澤人事課主幹 (計 2人)
議題	(1) 市長、副市長及び教育長の給料等の額 (2) 志木市議会議員の報酬の額
結果	審議内容及び結論を基に会長と事務局で答申書を作成し、会長から市長に答申する。諮問にかかる審議は本日で終了となり、答申をもって審議会委員は解任となる。 (傍聴者 1人)
事務局職員	尾崎企画部長、山崎人事課長、富澤人事課主幹、星野人事課主査
審議内容の記録(審議経過、結論等)	
1 開会 山崎人事課長が開会を告げる。 2 審議 ・志木市特別職報酬等審議会条例第4条の規定に基づき議事進行は西川会長。 ・審議に入る前に、傍聴者の有無の確認を行った。 →傍聴希望者あり	

→会議の公開については全会一致で承認、傍聴者が入室する。

・富澤人事課主幹から配布資料について説明後、質疑応答及び審議を行った。

(1) 市長、副市長及び教育長の給料等の額について

(委員)

改定案①と②の根拠は。

(事務局)

改定案①については、平成24年1月の減額分を元に戻したものの。改定案②については、減額を元に戻したうえで、一般職の給料表の過去5年間の伸び率を反映させたものである。

(委員)

財政力指数を他市と比較しても志木市は悪くないと思うので、もう少し上げて良いのではないか。

(委員)

給料が高いか低いかを比較するだけでなく、財政状況も同時に見る必要があるのではないか。

(委員)

現市長は頑張っている。もう少し上げて良いのではないか。

(会長)

給料額は上げるということによいか。改定案②をベースに、市長はもう少し上げて良いのではという意見もあるため、最終的な調整は会長に一任していただき、これまでの意見を反映させて、答申案を作成する。

(委員)

一同了承。

(2) 志木市議会議員の報酬の額について

(委員)

議員定数を削減してきた経緯と、議員活動の内容も変わってきている。もっと報酬額を上げて、専門的に活動してもらうくらいが良いのではないか。

(委員)

心情的には報酬額を上げたいと思うが、市の財政への影響も気になる。

(委員)

事務局の改定案について異議はない。

(委員)

議会改革として自ら定数を削減して努力している。定数が減った分、市の財政への影響も減ったのだから、若干は議員報酬に反映させても良いのではないかと。

(委員)

志木市は人口の伸び率も高い方で、議員としての仕事も増えているのではないかと。近隣市の状況も考慮して水準を上げて良いのではないかと。

(委員)

金額の最終調整は会長に一任するのが良いと思う。

(会長)

これまでの意見を集約し、改定案を基本にして報酬額を検討する。

・結論

市長、副市長及び教育長の給料については改定案②を基本とし、給料額の最終調整は会長に一任する。

議員報酬については改定案を基本とし、報酬額の最終調整は会長に一任する。

これまでの意見を調製して答申書にまとめ、委員の皆さんからご意見を伺うこととする。

3 閉 会

山崎人事課長が閉会を告げる。